

【議事録】

■案件名：PARK-PFI「桃山公園」の魅力向上事業

■会議名：第4回 桃山公園ミーティング

■日時：2023年7月27日(木) 10:00~11:30

■場所：桃山台市民ホール(2階)

■参加者(敬省略)

(学識経験者) 大阪公立大学 緑地環境科学専攻 武田准教授

(桃山台自治団体協議会) 小山

(3丁目自治会) 柳田、伊藤

(ブランド桃山台) 森本

(サンメゾン桃山台アーバンビュー) 里見

(桃山公園を守る会) 田中、村田、浅井

(愛好会) 飯田、古川

(桃山台小学校PTA) 野上

(桃山公園クラブ) 稲山

(千里竹の会吹田) 口村 ※途中から参加

(吹田市公園みどり室) 陣門、川本、徳永、金田

(指定管理者) グリーンホスピタルサプライ桃山公園

白石、中村、野田、八木、田中、清山

■傍聴人

(3丁目住民) 中田、山崎

(市議会議員) 林

■記録者：中村

■資料：第4回 桃山公園ミーティング 次第、桃山公園パークマネジメントプラン策定について、資機材使用申請書、資機材(備品、用具)の運用ルールの変更について、自動販売機の設置に関するご案内

1. パークマネジメントプラン策定について〈ファシリテータ：武田先生〉
〈資料の説明：グリーンホスピタルサプライ江坂公園〉

○桃山公園パークマネジメントプラン策定にあたって

- ・2022年7月頃から桃山公園における指定管理業務がスタートしました。
市から委任を受け管理業務(清掃・見守りなど)をスタートしました。
2022年12月に「桃山公園ミーティング」がスタートし、今年の4月に整備工事が完了し、リニューアルオープンしました。
- ・「桃山公園ミーティング」に関するご意見をいろいろ頂きました。
中には、現桃山台3丁目自治会の柳田会長からも我々にお手紙を頂きました。個人的なご意見ということで、吹田市、武田先生、事務局で共有しております。更に、守る会の田中さんからご意見を頂いております。共通事項が、「桃山公園ミーティング」の議論が足元の問題に偏りがちであること。今一度、ビジョンを決めていく。ビジョンに沿って何をやらなければいけないのか、を考えていきましょうという

ご意見を頂きました。

一方、我々もビジョンなく指定管理業務をスタートしただけではなく、吹田市が「目指すべき姿」を策定されております。それを受け、我々が「事業コンセプト」を提示しております。その上で、桃山公園に「パークマネジメントプラン」を作ることが、本日の協議事項になります。

○吹田市都市公園等整備・管理方針(R2年5月)

- ・「基本計画」とは吹田市が管理している500以上公園を含めた、緑地の保全・各公園の整備計画がございます。

「個別計画」とは例えば江坂公園をP-PFIにしましょうというような方針計画です。我々は「基本計画」「個別計画」に基づいて、「実行計画」を協議会の中で作っていきたいと考える。

○桃山公園のパークマネジメントプランの構成(案)

- ・実行計画をどのように作りこんでいくか。

管理運営方針は「守る」「交わる」「つなげる」

管理運営目標(アクションプラン)は実際何をしていくか。あくまで例ではありますが、公園全体でなにをしていくのか、竹林ではどのようなことをやっていくか、パークセンターではどのようなことをやっていくのか、指標を掲げ決めていくのがパークマネジメントプランの基本構成になります。

○桃山公園のパークマネジメントプランのイメージ(案)

- ・イメージ案は「目指すべき姿」⇒「目標像」⇒「管理運営方針」に対して、それぞれの「管理運営目標」を決め定量化できているかを確認していくことが基本構成になります。

○今後の予定

- ・具体的にどのように進めていくか。

次回10月の協議会では「管理運営方針(案)」「管理運営目標(アクションプラン)(案)」をご提示させて頂きたいと思っております。

それに対し議論をし、来年1月の協議会で「管理運営方針」「管理運営目標(アクションプラン)」を確定し、新年度より運用開始。

まずは、協議会の中で「目指すべき姿」を今一度皆様で理解・納得・共感したうえで、目標を定めて公園運営をしていきます。

その後、ボランティア活動をどうしていこうか、そのほかの課題に対してどのように取り組むかを決めていきたいと考えております。

<武田先生>

- ・目指すべき姿や目標像(パークビジョン)は、既に吹田市で行政計画として決めている事項なので、この場で議論する事ではないと考える。

本協議会では、「管理運営方針」「管理運営目標」「管理運営指標」を議論

し、定めていければ良いのではないかと考えております。より良い方針や目標が設定できれば良いのではないかと考えます。どういう方針や目標に沿って日々の

日常管理をしていきたいと思いますという議論をしていきたい。
本日は方針や目標について、皆様から幅広くご意見を頂きたい。

〈ご意見／ご質問〉

C 委員：「樹木台帳の作成」と記載があるが、樹木をどうしていこうという方針の方がむしろ大事だと考えるが、台帳を作成するだけか。

樹木はとても大事なのに、とても抽象的である。台帳を作成してほったらかしなのか。

D 委員：台帳を作成するだけでなく、樹種に応じてどのような樹形がよいのか、などを作って頂けたらと考えている。公園にある樹木の把握から始めたいと思い、事例として記入した。(吹田市)

〈武田先生〉

樹林地のゾーニングをし、樹林地をどういうふうな樹林に育てるのか目標を定めるのが管理運営目標だと思います。

E 委員：樹木の台帳作成は何年もかけてやるものなのか。最近、大衆が好きそうな桜楓など小さな木を植えている。どういうふうな林を作っていくか。

〈武田先生〉

目標像を掲げていきましょう。

F 委員：千里ニュータウンは公園に恵まれた場所だが、桃山公園は他の公園と同じ公園として扱わないでほしい。桃山台3丁目は人口が約1,100人いて、内約400人が高齢者である。地域の方が落ち着ける・ゆっくりできる場所がひとつぐらいあっても良いのではと考えます。レストランや駐車場ができたりするのも良いが、どうしても若者向けである。桃山公園は、人にやさしい公園であってほしい。樹木を1本も切るのではなく必要な施工はして、地域の住民、特に高齢者が多いゆっくり休める場所を一カ所ぐらいあってもよい。地域の方を配慮した、周りの公園とバランスを考えたプランを練ってほしい。

〈武田先生〉

管理運営方針の整理や、ゾーニングどういうゾーンでどういうふうな利用を促進していくのかを検討し、反映できればよいと考える。

G 委員：桃山公園パークマネジメントプランのイメージ(案)の目標像(パークビジョン)に書かれている「水面を活かした高質でハイセンスな飲食店を設置します。」ということが書かれているが、吹田市長の公園説明会の際に、「飲食店は任意である。必須ではない」と言われました。

A 委員：当時の資料をそのまま出しております。誤解があるので、吹田市と本資料を出すかお話ししましたが、現在は方針が変わっていることを理解しております。全体の吹田市が掲げているところは指定管理者も踏襲します。水上レストランの計画は現時点ございません。(指定管理者)

G 委員：当面はありません。要望があれば設置します。と言われた記憶がある。大勢の場で、明言していただかないと、守る会として水上レストランを作らないでほしいと思い運動をしてきたので、あいまいな発言ではなく、明言していただきたい。

A 委員：組織としての回答と、個人としての回答は分ける必要がある。グリーンホスピタルサプライ桃山公園として明確な方針は決まっておりません。なぜならば、数年後水上レストランをつくってほしいという声を受けた際に、「やらないと言いましたよね」という議論にならないように「我々として現状は考えていない。」ということで留めたい。ただ、一方で現実的に難しいことも理解しております。インフラなど莫大な費用が掛かります。今後時代も変わってくる中で、例えば今はパークセンターがあるが、もう少し違うものがほしいと意見が出た際に、前の議事録で「絶対やらない」ということがあった時にレストランをつくるのが難しくなるため、「現状は考えていない。そして現実的に難しい」ということで留めておきたいと思っております。(指定管理者)

G 委員：吹田市議会で前土木部長が「水上レストランは作りません」と明言しているため飲食店はできない。議会の議事録には残っていると思います。

<武田先生>

本件については、事実確認をします。現状に応じたどういうゾーニングが良いか、どのような空間を作っていけばよいか話ができればよいかと思います。

H 委員：「お祭り」などを書いていることに抵抗があるが、どういうことを目標とするのか。特に子供向けと書かれているが、これは目標とされることでしょうか。

<武田先生>

まだ決定した話ではない。次回具体的な案をお示しするかだと思います。

A 委員：参考までに懸念理由を教えてください。(指定管理者)

H 委員：「お祭り」は桃山公園にそぐわない気がする。この公園の姿として桃山公園でお祭りをすることが向いていないと思います。人が集うことや繋がるのが目標となることは理解するが、例として子供向けのお祭りと書かれていることに違和感がある。

<武田先生>

多世代交流の場や、日常的な交わり方は良いが、お祭りはどうかということですね。子供たちのプログラムがあるということは、公園にとって悪いことではないと思う。騒音問題などを懸念されていると思いますので、プログラムのやり方については配慮が必要だと思います。将来の子供たちのために公園を使うことは良いことだと思うので、使い方をどういうふうにするかを考えていきましょう。

H 委員：この公園にふさわしいことを実施してほしい。騒音が気になる。この公園の特徴は「自然豊か」というところなので、集まる・お祭りはそぐわない。

I 委員：子供たちの為のために自然の公園を残してほしいと思う。

J 委員：書いていることは立派なことを書いているが、逆に目先のことや身近なことで、公園に見合ったイベントを実行するやり方が現実的だと思う。

<武田先生>

計画論は2通りあり、コアキャスト型で積み上げていくこと、バックキャスト型で目標像から戻っていくことがある。地道な活動の積み上げも大事な方法だと思います。ただ、全く目標像がないままに積み上げていってもいい公園にはならないと思います。

K 委員：具体的にどのようにするのか。何をすることも反対の意見が多い。公園としては市の公園なので、ある程度は我慢をしてもらいたい。地域が公園のせいで割れてはいけないので、十分に考えていただき運営してほしい。

<武田先生>

樹林ごとの目標像のイメージを頂いた。また、にぎやかな場所というよりは地域の人々の場所、自然豊かな場所というような感じで子供の交流も含め目標像を持ったほうがよいのではないかと。また、ビジョンとアクションの関係については、公園をマネジメントすることで地域が総合的に良くなるのが最終的な目標だと思いますので、10月には具体的な目標と方針をお示しし、議論ができればよいのではないかと。と思います。

F 委員：色々と意見が分かれるのは柱がないからである。桃山公園は誰をhappyにするための公園なのか。どういうふうにしてhappyにするか。をある程度決まっていれば、色々な問題を決定しやすい。千里南公園みたいな全世代向けの公園ではなく、桃山公園は落ち着いた公園に持っていったほうが良いと思います。

K 委員：竹林、池の周り、緑地帯などは具体的にどう管理していくか。

A 委員：今のご質問についての回答は、ハード面とソフト面があると理解しております。千里竹の会吹田に管理を委ねており、高齢化という課題もあります。他の方々には知らない部分も多いのではないかと。思います。年内に竹の会吹田がどのような活動をし、どのような課題があるのか、その課題を地域で解決できるかを考えております。ハード面は、例えば園路の水たまりができるなどを指していると思います。どうしても費用の問題もありますので、吹田市と協議を重ねながら、障害や危険があるところを優先的に修繕すべきところは修繕をしていきたいと考える。(指定管理者)

E 委員：桃山公園が新御堂筋に沿っているという立地条件を考えると、緊急の際の拠点として定めるという考えはなかったのか。緊急の為に使用できる自動販売機を設置するのは違うのではないかと。

<武田先生>

各自治体で地域防災計画を作られており、一時避難地になっている。指定避難場所にはなっていないので、何か災害があった時に一旦は逃げてくる場所だが、避難所が経営されしばらく身を寄せる場所ではない。それを地域で勉強することが大事だと思います。

2. ボランティア活動に必要な備品運用(案) 〈指定管理者〉

現在

- ・各ボランティア団体で資機材（備品）を保管

課題

- ・資機材の保管場所が無い。
- ・ボランティア団体に所属していなければ、資機材（備品）が使用できない。
- ・倉庫が小さい。
- ・公園内にロッカーを置くのはおかしい。

運用案

- ・ボランティア団体に所属していなければ、資機材（備品）が使用できない

⇒水上東屋付近にあるロッカーを共有する。

資機材を使用される方は、パークセンターにて「資機材使用申請書」を提出する。

「資機材使用申請書」はボランティア団体に所属していない方、所属しているが足りないものを借りる方を想定しております。

「資機材使用申請書」が提出可能な時間は、パークセンターの運営時間に準ずる。

資機材（備品）には限りがありますので、使用日の数日前に事前に提出をお願いします。

G 委員：数日前に申請をし、当日数に変更になった場合は臨機応変に対応いただきたい。

A 委員：承知致しました。不手際のないよう臨機応変に進めていきます。（指定管理者）

3. 春日大池噴水について 〈吹田市〉

噴水必要性の整理を考えたい。

前回の会議では、水質が良くなっているので補修しなくても良いとお伝えしたが、必要性の例として「景観が良くなる」「利用者が増加」「池の環境が良くなる」ことが考えられる。一方で、「水利組合との調整」「他公園との平等性」を考えなければいけない。江坂大池公園の噴水は現在止めている。吹田市全体としては、故障したら修理をしないことになっている。修理するのではなく、イベント時に復活させる方向で検討しています。修繕費は約140～200万円ほどかかる。3年に一度の頻度で故障している。電気代は不明。

A 委員：前回の会議を受け、まずは以前の様子、今後復活させる為には、予算取りの為の理由を皆さんと考えたいと思っております。（指定管理者）

M 委員：修理はいつ頃までかかるのか。（愛好会）

D 委員：すぐに修理を実施できないため、まず予算を確保する必要がある。（吹田市）

4. その他

○自動販売機の設置に関するご案内

A 委員：当初、吹田市と3ヶ所の自動販売機の設置を協議しておりました。初めに4月にパークセンターに設置。次に、休憩所に設置しております。3ヶ所目に南出入り口付近に設置を検討しております。景観を考え、茶柄の自動販売機を選択しております。また、水分補給のため設置をしたいと思っております。自動販売機は、応募当初から3カ所の設置計画としており、現在までに2カ所の設置を完了している。残り1カ所の設置に際し、本件を協議会での報告事項としましたのは、ご意見・歴史的背景があることを受け、ご報告をしております。（指定管理者）

G 委員：パークセンターに設置された際は、皆様から何も言われなかった。休憩所に設置された時も何も言われなかった。南東に木枠ができた際に、「あれはなんですか？」と聞かれました。私が、「自動販売機が設置されるということですよ」と返事をすると、お伝えした方は皆様「なぜあそこに設置するのか。景観が悪くなるし、ゴミも増えます。」と言われ反響がありました。近隣の電気の専門家から「南東の場所は、本来電柱から電気を引くことができないのではないかと。木枠は公園ではないと示すものではないかと」と連絡を頂いた。とても問題であると感じた。専門家が言うには「一つの需要場所には一箇所しか引き込み口は許されない。公園の引き込み口がパークセンターにあるのであれば、そこから引き込まないといけない。」と聞いている。このことについて、どう考えているのか。

A 委員：3カ所とも別の電柱から電源を引き込んでいるため、パークセンターの電源を引き込むことはない。南口は数メートル先の電柱から引き込みをする予定です。
(指定管理者)

G 委員：関電からは何も言われていないのか。

A 委員：関電からの指定です。(指定管理者)

G 委員：私が聞いたのは、「関電が自動販売機の場所が公園ではないと明示しないと電線は引き込めない。」と伊藤園から伺った。伊藤園と打ち合わせはないのか。

A 委員：伊藤園と関電と話し、木枠が必要だということで準備をした。(指定管理者)

O 委員：ということは木枠をしたところは公園ではないということか。

A 委員：伊藤園に確認はしますが、伊藤園の下請け業者が工事しているため、工事業者によって考え方や意見が違うと思いますので確認します。(指定管理者)

G 委員：どういう扱いで自動販売機がおけるかを確認し、連絡いただきたい。

A 委員：承知致しました。確認し、別途報告します。(指定管理者)

G 委員：自動販売機のことを心配で傍聴に来られている。誰でも、自宅の前に自動販売機を置かれるのは嫌なことではないか。公園の騒音は、夜8時ぐらいから響き聞こえる。散歩の話し声や、ジョギングの足音が聞こえてくる。自然の音は気にはならないが、自動販売機の音はすごく響くので気になるのではないかと思う。そのことについては、どのように考えているのか。

A 委員：すべての生活音を遮ることはできない。拡大解釈するわけではないが、車も通ったりする中で、ひとつの生活音としてあくまでも設置は公園の中で、公園を通る方に利用していただくということでご理解いただきたい。
当初3箇所の自動販売機設置を計画したのも、南口に休憩所や飲み物を買う場所が無いなど意見が出たため、計画を提出し、設置許可も得て進めています。(指定管理者)

E 委員：ニュータウンを計画した際に、住宅地がクロズドになっており通行する車が無いように設計されている。入口に自動販売機を設置するということがだが、昼散歩した時に休憩の自動車が止まっています。ものすごくエンジンの音がうるさいです。吹田市は「車を止めないで」と旗を出しているのに、わざわざ違法駐車を助長するような自動販売機をなぜ設けるのか。

D 委員：担当が旗を立てている。市としては認識しております。(吹田市)

- P 委員：昼は穏やかで、夜は色々な顔がでてくる。昼を楽しんどいて夜はやかましいというのはわがままだと思う。良いところだけおいといて、悪いところだけを削除することは公園でできるか考えて発言してほしい。今の話を聞いていると、昼は美しい綺麗な公園で、夜は散歩する人も車を止める人もいる。第三者で聞いていると、何をくだらない話をしているのかと思います。もう少し理解力をもって話をしてもらいたい。
- F 委員：昨年から住民説明会で説明され、進めてきたことだと思うので一概に反対はできないと思うが、住民は反対の意見が多いということと、自治会の若い人の意見も聞いたが、ここに設置できることになって助かるや嬉しいなどの意見は入ってきていない。そうすると売れ行きも良くないかなと推察している。それならば、自動販売機の設置を止め、別の場所に設置したらよいのではと考えます。ここは20年前に自動販売機ができて問題になった場所になりますので、住民の気持ちを逆なでするようなことはやめたほうが良いのかなと思います。ただ反対もできないので、もし設置するとしたら目立たない内側に設置する、周りに囲いをする、防音装置を設置するなど何か手を打っていただきたいと思います。
- O 委員：公園利用者というよりは、通行の人・車の人が利用すると思われる。場合によってはポイ捨ての原因になる可能性が高い。解決すると思わないので？
- Q 委員：自動販売機の搬入業者の路駐を止めていただきたい。もし南口に自動販売機を設置することになったら、園内に入って補充してください。昨日は、パークセンターに野菜の納品に來られた車が、駐車場の手前に路駐していました。車世界ですが、最小限に問題を抑える努力が必要だと思います。南口の自動販売機は外で補充すると思うが、あの場所は3方向から車が來ますので、事故が起らないよう考えながらやっていただきたい。それと同時に設置場所も考えていただきたい。私は、南口に自動販売機を設置する必要がないと考えます。むしろパークセンターの中でお水が自由に飲めることをお伺いしたので、外に出して欲しいとお願いしました。パークセンターの利用度の問題等の関係もあります。パークセンターがみんなの公園になるように、活用方法を考えていただきたい。
- A 委員：休憩所自動販売機の搬入業者が路駐をしているのを聞き、パークセンターに停めて運ぶように指導しております。また、自動販売機に伴うゴミの問題ですが、パークセンターの自動販売機で購入し、公園内で飲まれてすぐに捨てる方はおらず、実際にパークセンターに捨てられているゴミは、公園内の自動販売機以外のものであることが確認されている。ゴミが溢れるという問題は違う意味になるので、別で考えないといけないと思っております。反対の方がいらっしゃる一方で、3箇所目の設置はまだかとお声を頂いているのも事実です。ただ、守る会から頂いた問題を調査し、最終的な設置時期や、設置するとしたら場所はどこかをパークセンターに掲載します。反対の意見を受けたが、承諾することも難しいことをご理解頂ければ幸いです。(指定管理者)

〈傍聴人コメント〉

R：自動販売機の前に住んでいる。どういう経緯で自動販売機を設置することを知ることができました。必要性などを踏まえ、良い方法を考えていただき良い公園になればよい。

S：私自身、今の桃山公園に違和感を抱いています。今までの協議会の議事録を拝見させて頂きました。皆様の感情がわからなかったので参加させて頂きました。皆様の意見を踏まえて、良い公園を作っていければよいと考えています。

T：桃山公園は、季節の移り変わりを感じる公園にしたいなと思いました。